

子どもの豊かな未来のために新しい学校をつくります

## 杉並第五小学校・若杉小学校 統合協議会ニュース

# 第5号

### — 校名選定の話合いの様子をお伝えします —

平成20年4月、新しい学校は、若杉小学校の校地・校舎で開校します。そして、現在の杉並第五小学校の校地に新校舎を建設し、平成22年度に移転します。統合協議会では、新しい学校をつくるため、統合校の教育、新校舎についての話合いをしています。

「統合協議会ニュース第4号」でお知らせしたとおり、9月1日から9月30日まで校名募集を行い、205件（実人数195名）の応募をいただきました。それらをもとに、11月9日の第8回統合協議会、12月21日の第11回統合協議会において、統合新校の校名について検討しました。

今回は、その検討内容をお知らせいたします。



## 校名選定の協議内容



### 校名選定の1回目

第8回統合協議会では、事務局から、校名案を三つに分類（下表のとおり）した資料を提示しました。検討に入る前に、第3回協議会で決めた「応募数の多寡は参考とするが、それで決定するものではない」ことを確認し、意見交換に入りました。

#### I 分類 地域名又は区名の文字を含むもの

（例）天沼、あまぬま、荻窪北、杉並、杉並天沼、天沼学園、清水東 など

#### II 分類 現在の両校の校名の文字を含むもの

（例）杉並第五、若杉五、杉若、若五、わか五、若杉、杉並第五若杉 など

#### III 分類 新しい名称

（例）杉の子、みどり、さくら、<sup>さくさく</sup>杉杉、新星、新生 など

まず、委員から「天沼」を推す意見と、絞ることは難しいけれども新しい名称を推す意見が強くあがりました。II分類（現在の両校の校名の文字を含むもの）は、新しい学校をつくることから現在の校名を引き継ぐものはふさわしくないということで、検討から除くことにしました。

その中で、「天沼」を候補の一つとすることが決まりました。また、次回（第11回）は新しい名前の視点から考えることにしました。

#### <校名選定の1回目のまとめ>

- ・「天沼」を校名候補の一つにする。
- ・II分類の現在の両校の校名又はその文字を含むものは、今後の検討対象から除く。
- ・「天沼」以外の名前を推す場合は、次回の協議会で新しい名前の候補をあげる。



## 校名選定の2回目

第11回統合協議会では、Ⅲ分類の「新しい名前」の視点から検討に入りました。

応募された校名を参考に意見交換をしたところ、新しい名前「尚志」の提案、「天沼〇〇」と「天沼」の後ろにつける名前、Ⅲ分類（新しい名前）には子どもたちからよい名前があがっているなど、いろいろな意見が出されました。候補の一つに子どもたちの意見からあげてはどうかといった案も出されましたが、それは特に行わないことにしました。

候補を絞るために、「尚志」「天沼〇〇」の名前を含め、委員投票（一人5つの候補まであげる複数投票）を行い、複数票が入った名前を基本に、次回の協議会（第13回）で協議することになりました。第13回は、協議を行った上で投票し、再度協議を行う予定です。

### <委員投票の結果、複数の得票があった名前>

複数票が入った  
名前（13種類）

天沼(11)、尚志(5)、杉杉(4)、天心館(4)、若葉(4)、  
天沼さくら(2)、天沼杉杉(2)、天沼ひかり(2)、天沼みらい(2)、  
天沼わかば(2)、天沼若葉(2)、杉の子(2)、悠(2)

### <委員投票の結果、単票の得票があった名前>

あまぬま、天沼すぎの子、天沼絆、天沼ときめき、さくら、杉寿、新天沼、新杉並、新緑、  
新星、杉並天沼、杉並新世紀、大地、なかよし、明宝、友和、陽和、わかば

### <校名選定2回目の投票前のまとめ>

- ・「尚志」を校名案に加え、「若葉」「わかば」はⅡ分類ではなくⅢ分類とし、選定の対象にする。
- ・子どもたちからの応募作のみに枠を設けることはしない。

### <校名選定2回目の投票後のまとめ>

- ・2票以上得票のあった校名案を基本とし、次回（第13回）、再度協議を行った上で投票、その後に協議を行う。

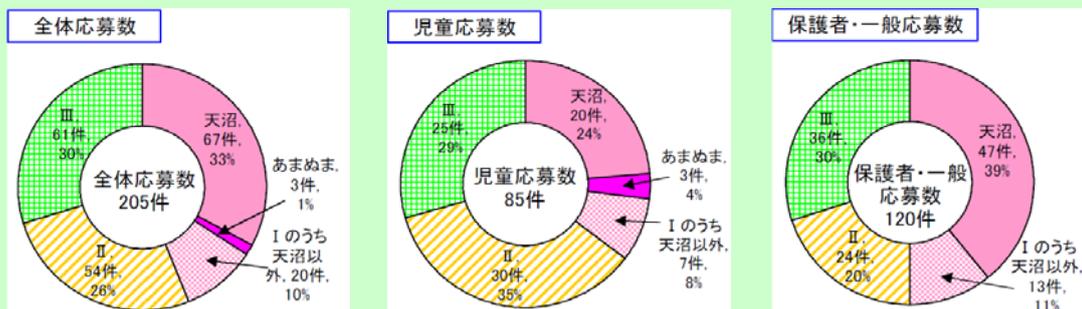
## 校名応募の割合

校名案を三つに分類し、全体の応募件数、児童からの応募件数、保護者・一般からの応募件数をそれぞれ円グラフにしてみました。全体ではⅠ分類が多く、そのほとんどが「天沼」が占めています。

統合協議会では、新しい学校をつくるという視点から、現在の両校の名前を含むもの（Ⅱ分類）を検討の対象から除くこととしましたが、応募された皆さんの思いを尊重しながら、慎重に協議をしています。

|     |                  |
|-----|------------------|
| Ⅰ分類 | 地域名又は区名の文字を含むもの  |
| Ⅱ分類 | 現在の両校の校名の文字を含むもの |
| Ⅲ分類 | 新しい名称            |

### <応募件数をⅠⅡⅢ分類に分け、Ⅰは更に「天沼」を分けた場合>



## 校名選定に関する委員の意見

### ○Ⅰ分類(地域名又は区名の文字を含むもの)について

- ・ 戦後できた学校の多くは地名を冠している。その土地の名前が一番よい。

### ○Ⅰ分類のうち、「天沼」の名称について

- ・ 杉並第五小、若杉小とも創設の地は天沼であるから「天沼」がよい。
- ・ 地域に開かれ、地域を基盤とした学校をつくるのだから、「天沼」とすべき。
- ・ 圧倒的な数を無視できない。「天沼」を校名候補の一つにあげる。
- ・ 学校が地域に支えられてきた歴史の重みを感じる。その重みを忘れてはならない。

### ○Ⅱ分類(現在の両校の校名の文字を含むもの)について

- ・ 新しい学校をつくることから、現在の校名を引き継ぐもの(Ⅱ分類)はふさわしくない。

### ○Ⅲ分類(新しい名称)について

- ・ より広い地域の方々から注目されるように、地域の名前は入れない方がよい。
- ・ 子どもたちからは、「天沼」以外の新しい名前がよいという声が聞こえてくる。
- ・ 新しく生まれるというイメージを強く打ち出した学校名であれば素晴らしい。
- ・ 「天沼」には反対である。新しいものを作り出そうというとき、地域の名前は背負わない方がよい。
- ・ 新しい名前が出されているが、どれも件数が少ない。
- ・ 新しい名前の中から、“未来志向の学校”という意味をもって絞ることは難しい。

### ○校名の候補の決め方について

- ・ 校名は、統合協議会の場で決めるべきもので、複数の候補を区教育委員会にあげることに反対である。校名候補は一本に絞るべきである。
- ・ 性急に決定するのではなく、話し合いを重ねて決定したい。たとえ1票でも、応募した方の思いは大切にしたい。
- ・ 応募作の中から選ぶのではなく、組み合わせで考えることもできる。
- ・ 「天沼」に未来志向の名前を組み合わせで考えることもできるのではないかと。

- ・ 消去法にした場合、残ったものが優れているとは限らない。

### ○Ⅲ分類(新しい名称)からの検討について

- ・ 「尚志<sup>しやうし</sup>」という名前を考えた。「志を高くする」という意味で、一步前に踏み出すという心意気を示している。
- ・ 「天沼〇〇」と、「天沼」に違う名前を付けることは変だと思う。
- ・ 「天沼」を付けるかどうかは、その付けられる言葉によると思う。
- ・ 「若葉」はそれ自体が独立した単語なので、若杉を引き継いだものとは考えない。
- ・ 「さくら」「若葉」はどこの学校にも付けられる名前である。

### ○子どもたちが応募してくれた意見について

- ・ 子どもたちが覚えやすく、胸をはって自分の学校の名前が言える名前が選べたらよい。
- ・ 子どもたちから応募のあった名前の中にもよいものがある。「杉の子」「杉杉(さんさん)」「なかよし」。「天沼杉の子」「天沼なかよし」でもよいのではないかと。
- ・ 子どもたちから応募のあったものを一つの枠として、そこから取り上げてみてはどうか。
- ・ 子どもたちからの応募作を検討したという過程が大事であって、あえて、子どもたちからの応募作だけに枠をとる必要はない。



### ○第11回委員投票後の意見

- ・ 応募理由はわかるが、音の響きとしてどうかというものがある。
- ・ 「杉」を「サン」と読むように学校では教えていない。
- ・ 学校の名前は読みづらいものではなく、わかりやすい方がよい。

## 建設検討部会の進展状況について

### ○新校舎の基本方針の検討

建設検討部会では、これまでに6回の検討を行いました。委員の方々から様々な意見が出され、議論を重ねてきた結果、統合新校建設の基本方針の大きな柱が決定しました。

今後、この基本方針の詳細を検討するとともに、具体的な校舎の配置・平面計画案を策定していきます。

| 統合協議会（建設検討部会）検討経過 |             |                         |
|-------------------|-------------|-------------------------|
| 第1回               | 平成18年 6月13日 | 建築部会発足、計画概要について事務局から説明  |
| 第2回               | 平成18年 8月 4日 | 杉並第十小学校視察               |
| 第3回               | 平成18年 9月11日 | 新校舎のあり方について自由な意見交換      |
| 第4回               | 平成18年10月20日 | 豊島区立南池袋小学校（3校を統合した学校）視察 |
| 第5回               | 平成18年11月30日 | 基本方針の検討                 |
| 第6回               | 平成18年12月18日 | 基本方針の検討、配置案の検討          |

### ○基本方針の4本の柱

基本方針は4つの柱を軸とし、今後詳細について検討していきます。

**1 児童の豊かな創造性を発揮できる学習環境をめざす。**  
「学びの場」として高機能・多機能な学習環境を整備する。

**2 だれもが使いやすく、居心地のよい学校をめざす。**  
集団生活の場として、健康的で、環境に配慮した施設整備とする。

**3 安全で地域に支えられる学校をめざす。**  
地域の活動や災害復旧の拠点として、地域の風が通り抜ける学校とする。

**4 地域のランドマークとして親しまれ、児童の思い出に残る学校をめざす。**  
統合までの記憶を残しつつ、将来へ向け児童や地域に親しまれる学校とする。

## 協議会開催予定

|      | 開催日（午後3時から）  | 会場    | 種別  | 議題（予定）           | 備考 |
|------|--------------|-------|-----|------------------|----|
| 第10回 | 18年12月18日（木） | 杉並第五小 | 新校舎 | ・建設基本方針について      | 終了 |
| 第11回 | 18年12月21日（木） | 若杉小   | 教育  | ・通学路 ・校名協議       | 終了 |
| 第12回 | 19年 1月22日（月） | 杉並第五小 | 新校舎 | ・基本方針案・配置検討案について |    |
| 第13回 | 19年 1月29日（月） | 若杉小   | 教育  | ・校名協議            |    |
| 第14回 | 19年 2月19日（月） | 若杉小   | 新校舎 | ・基本方針案・配置検討案について |    |

※種別「教育」…統合新校の教育目標、校名、校歌、校章、学校運営、その他統合に必要な事項など

※種別「新校舎」…新校舎の内容、両校の歴史的資料の保存施設など

### ○傍聴を希望される方へ

協議会は傍聴することができます。傍聴を希望される方は、事前に次へお申込みください。

- ・教育委員会学校適正配置担当 03-3312-2111（代表）、
- ・杉並第五小学校（副校長）03-3392-6528、
- ・若杉小学校（副校長）03-3392-6428

名称：杉並第五小学校・若杉小学校  
統合協議会ニュース第5号

発行：平成19年1月

計画のお問い合わせ先：

杉並区教育委員会事務局学校適正配置担当

電話 03-3312-2111（代表）、

E-mail：GAKKO-HAITI@city.suginami.lg.jp



杉並第五小学校と若杉小学校の統合に関する資料は、杉並区教育委員会のホームページに掲載しています。  
○教育委員会ホームページ：<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>